

あさひ
朝日地区活性化計画（山形県朝日町）

【取組概要】

- ・事業期間：H25～27年度
- ・事業実施主体：朝日町
- ・事業費：約2.9億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：農産物販売施設、加工施設



施設HP



りんごの形をした外観

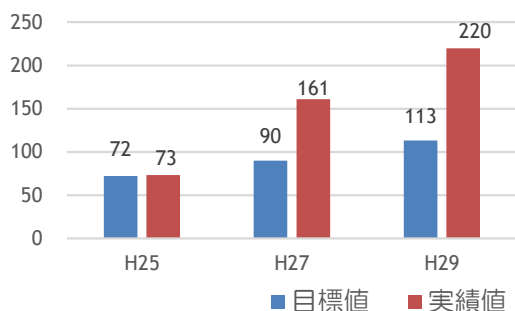
取組のきっかけ

特産品であるりんごをはじめ農業が基幹産業であるが、就業人口減少と高齢化が進み、従来の農家単位の取組だけでは地域農業が衰退することが懸念されたため、町をあげて農産物の需要拡大と交流人口増加による地域活性化を図ることとした。

町や地元住民から成る検討委員会において、いかに人を呼び込むかを検討する中で、道の駅と連携して一体的に直売施設を整備する計画に発展した。

そこで、それまで農家直営で点在していた直売所機能を集約し、既存の直売所の集客や売上を倍増させる目標値を設定。その達成に向けて、出荷者からなる運営協議会を設立し、出荷体制や品質の統一などを図った。

地域産物の販売額（百万円）



生産者の販路として確立したことで所得向上につながっている。特に「品質が正しく評価されて高く売れる」ことで、農業の魅力が向上し、Uターンなどでの後継者が増えている。

せんざき
仙崎地区活性化計画（山口県長門市）

【取組概要】

- ・事業期間：H27～28年度
- ・事業実施主体：長門市
- ・事業費：約4.3億円（うち国費1/2）
- ・事業内容：直売所、レストラン、加工調理室



施設HP



施設外観

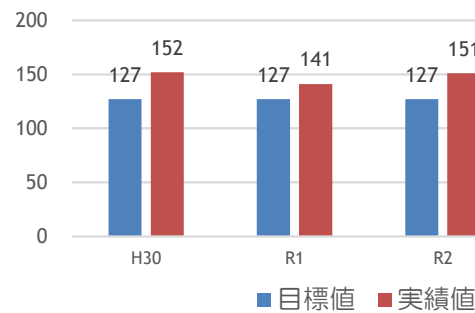
取組のきっかけ

漁業、農畜産業を中心とする一次産業の産出額、従事者の所得低下が課題となっていたため、一次産業の所得向上と雇用創出を通じた、地域活力の維持・発展を図ることとした。

所得、雇用確保の具体的な取組として仙崎地区の関係団体で話し合い、ブランド製品の確立とその発信拠点整備が必要との結論に至った。

農林水産業従事者、事業者からなる出荷者協議会を設立し、生鮮品として野菜類やいちご等の生産を拡大、加工品では海産物の素材を活かした商品開発を行った。

地域産物の販売額（百万円）



地域産物の販売額は、目標値を上回り、認知度の向上・農林水産業の活性化につながっている。令和3年度の施設全体の売上額は約7億円、来場者数は約77万人に上り、新たな販売・集客拠点として確立。

今回の事業によって、出荷者等による新たな商品開発が行われ、テストマーケティングの場としての活用もされている。